

会 議 録

会議名	平成29年度 第1回豊田市入札監視委員会		
日 時	平成29年7月7日(金) 午後3時～午後5時		
場 所	豊田市役所 南庁舎5階 53会議室		
出席者	委員長 曾我部博之	総務部	副部長 藤本 聡
	委 員 河野 伊知郎	契約課	課 長 能見 秀行
	岡田 千絵		副課長 永田 浩晃
	丹羽 忠彦		担当長 近藤 正典
			担当長 村井 幸介
			担当長 中條 圭祐
		上下水道局総務課	課 長 鈴木 満
			副課長 石川 直美
		担当長 成瀬 孝紀	

1 総務部副部長あいさつ

2 報告事項

(1) 平成28年度の契約状況

◇市長部局

質 問	回 答
借入の「コンピュータサービス」が平成28年度に計上されているが、この案件は今後発生するものなのか。	今後も発生するものである。
建設工事の件数は増えているのか。	建設工事の件数は減っている。
「不調」と「不成立」の違いは。	「不調」は応札金額が予定価格に合わなかった結果をいい、「不成立」は応札者が存在しなかった結果をいう。国とは使い方が違っている。
随意契約における見積競争とはどういうものか。	随意契約の一種であり、複数者から見積書により競争させるものである。通常は一者特命の随意契約が多い。

◇上下水道局

質 問	回 答
建設工事について、件数は前年と同じだが金額は増えている。理由は何か。	上下水道局では、水道や下水道の整備工事、災害対策としての耐震化、管路施設の更新事業を進めている。平成28年度の増額の主な理由としては、浄水場の機械電気設備の改良工事や老朽化に伴う配水場の築造工事など、金額の大きい工事を契約したことによるものである。

工事関係委託においても同様なのか。	工事関係委託は内容や規模により各年度金額は増減している。未普及解消アクションプランに基づき、平成28年度は下水道の設計業務委託などの工事関係委託が増加した。
上下水道の経営状況はどのような状況であるか。	水道に関しては黒字であるが、下水道に関しては、管理や整備に必要な費用を使用料だけで賄うことができないため、一般会計から繰り入れをしている状況である。

(2) 入札参加停止等の状況

質 問	回 答
「課徴金減免制度」とはどのようなものであるか。	捜査等に協力的な者に対し、課徴金を減免するものである。適用された者に対して、入札参加停止期間も軽減している。
入札参加停止を受けた業者と契約をした案件はどうなるのか。	入札参加停止はあくまで入札参加に対する措置である。そのため契約をした案件は、契約者が入札参加停止となっても継続することになる。

3 審議事項

(1) 平成29年3月議会・6月議会案件

質 問	回 答
建設工事の案件において、「失格」とはどのようなものか。	今回の「失格」とは「調査基準価格」を下回りさらに各経費「失格基準」を下回ったためである。
建設工事の案件において、「失格」した者が「施工体制点」が0点となっているのは、なぜか。	調査基準価格より低く応札したことにより、施工体制の確認がとれなかったため、0点となった。
化学消防ポンプ自動車買入の案件において、随契交渉で1千万円程度、金額を下げることはできたのはなぜか。	本案件は、最新型車両の化学消防ポンプ自動車の買入であった。そのため、応札者は、初度及び再度入札においては、最新型車両への架装にかかるリスクをすべて見込んだ価格で応札していた。随契交渉前に交渉相手が再度検討したなかで、従来型車両と同等の価格で架装できることを確認し、決定した金額にすることができた。

(2) 委員選定案件等

質 問	回 答
市長部局「連番1」の案件での高い落札率の理由は、参加者が1者であるためだけの理由ではないか。	当然、参加者が1者で競争性が働かなかったことも要因の一つである。その他に学校における工事は、学校行事等の制約を受けながら施工管理を行う必要がある。その分の経費を含めた応札になったことも高い落札率の要因になったと考えている。

市長部局「連番4」のカタログによる積算とはどのような積算なのか。	カタログに記載されている定価を参考に算出した積算である。通常は業者の参考見積りや過去の実績から積算しているが、商品が品薄状態になることを想定し、カタログによる積算を行った。
市長部局「連番3」において、複数者の参考見積りから、一番安価の参考見積りで積算したとあるが、すべての案件においてそうなのか。	積算において参考見積りを行う場合は、複数者の参考見積りから妥当と判断された参考見積りで積算を行っており、すべての案件が一番安価の参考見積りで積算しているわけではない。
上下水道局「連番1」の案件において、工法が5つ指定されているが、工法を選択により施工計画の評価（加点）の影響はあるのか。	工法を選択による評価（加点）の影響はない。

4 その他

(1) 最近の動向

質 問	回 答
なぜ、積算ミスが発覚したのか。	金額が記載された積算書は契約後に情報提供を行っている。情報提供を行った際に、業者から指摘があったため、その積算ミスが判明した。

(2) 第2回委員会の開催予定について

第2回開催予定は、11月中旬を予定。